

# RYOBI

®

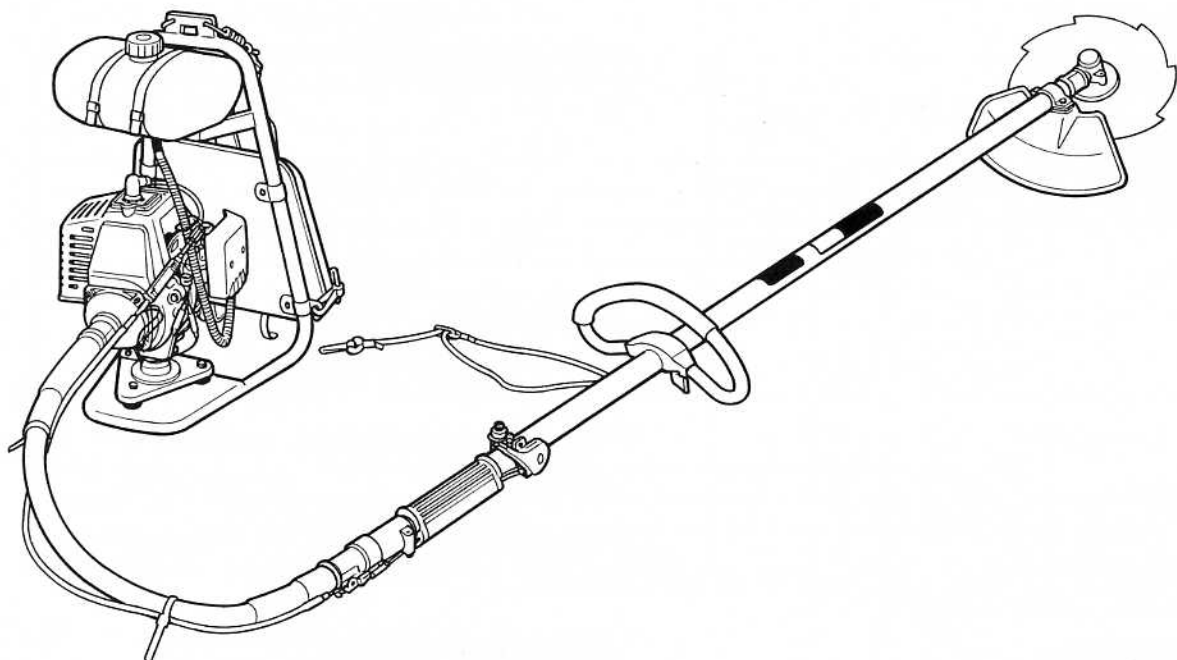
## エンジン刈払機(背負式)

EKB-240L  
EKB-325L

取扱説明書

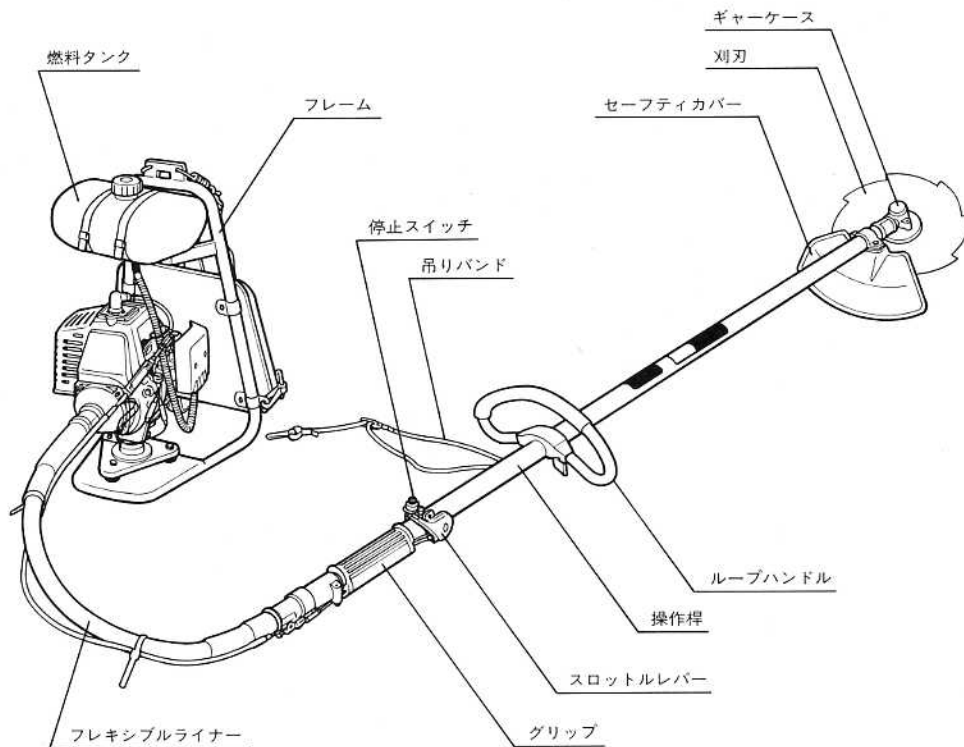
このたびは、リョービエンジン刈払機をお求めいただきまして、まことにありがとうございます。

- この説明書をよくお読みのうえ、正しくお使いください。  
そのあと大切に保管いただき、わからないときは、再度お読みください。



●改良のため、お断りなく仕様、外観を変更することがあります。

# 各部のなまえ



## ●仕様

型式			EKB-240L	EKB-325L
寸法	長さ×幅×高さ	mm	2550×270×440	2560×270×440
重量		kg	8.8 (9.5)	9.3 (10.2)
エンジン	型式		空冷2サイクル単シリンダ	
	排気量	cc	24.1	32.5
	最大出力	ps/r.p.m.	1.4/8000	1.8/8000
	キャブレタ		フロート式	
	マグネット		電子点火方式、フライホイールマグネット	
	スパークプラグ		BM-6A (NGK)	
	始動・動力伝達		リコイルスタータ、自動遠心クラッチ	
燃料	混合比		20~25 : 1 (ガソリン) (2サイクル専用エンジンオイル)	
	タンク容量	ℓ	1.3 (満タン約90分)	1.3 (満タン約70分)
刈払装置	操作		ループ式ハンドル、固定式レバー	
	刈刃	mm	8枚刃 (230×25.4×1.4 t)	8枚刃 (255×25.4×1.4 t)

※記載重量には、刈刃、刈刃カバー、セーフティカバー、ハンドルを含んでおりません。  
( )内は、燃料を除く全装備重量です。

### ●通常付属品

- ⊕ドライバー付ソケット
- ⊖ドライバー
- スパナ
- 六角棒スパナ
- コードストラップ(2本)
- 刈刃カバー
- 吊りバンド
- 混合容器(700cc)

### ●特別付属品(別販売)

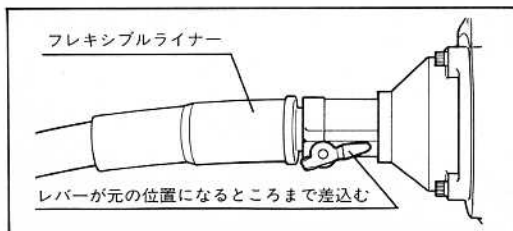
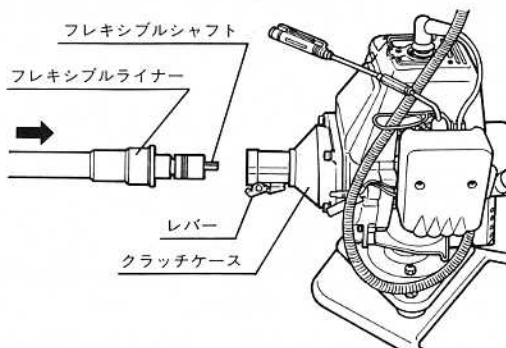
- 9頁、「刃物について」をご覧ください。

# 使用準備

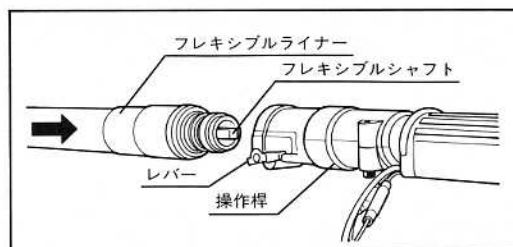
輸送のためエンジン部と操作桿部は別々に梱包してあります。次の手順に従って組立ててください。

## ●フレキシブルライナーの取付け

- フレキシブルライナーの片側の端を、クラッチケースに差込みます。
- カチッと音がして、レバーが元の位置になるところまで差込んでください。
- フレキシブルシャフトを押し込んでください。フレキシブルライナー端面から約9~11mm引込んだところに、フレキシブルシャフト端面がくるのが正規です。

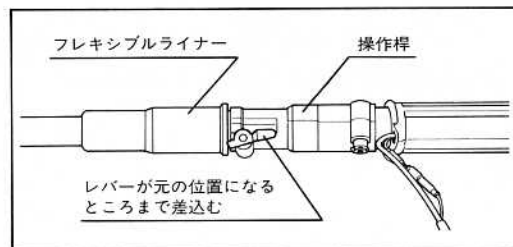


- フレキシブルライナーの残った端を、操作桿に差込みます。
- フレキシブルシャフトの四角と、操作桿の四角穴が合う位置とし、カチッと音がして、レバーが元の位置になるところまで差込んでください。



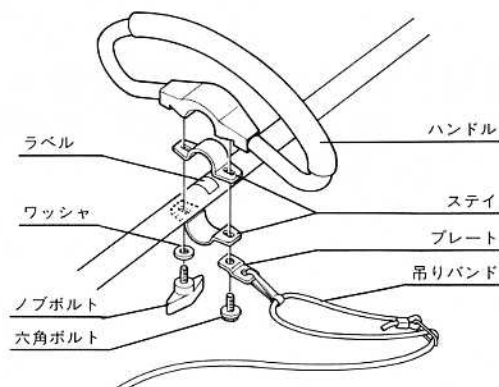
### 〈注意〉

フレキシブルライナーの両端は同じ形状をしていますので、クラッチケース側、操作桿側のどちら側に差込んでかまいません。ライナーの中のフレキシブルシャフトを抜き落とさないよう注意してください。



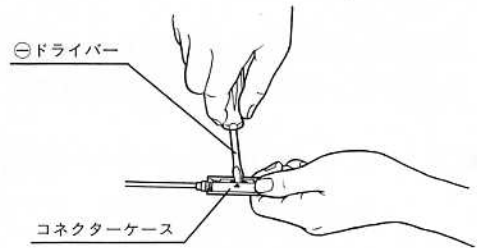
## ●ハンドルの取付け

- ハンドル取付位置ラベルがかくれるように、ハンドルを取付けてください。
- 六角ボルトとノブボルトを用いて締付けます。
- ハンドル取付位置ラベルは、取付位置の目安です。作業のしやすい位置にハンドルを合わせてください。
- 吊りバンドを使用する場合は、図のようにバンド片側のプレートを六角ボルトで締付けてください。

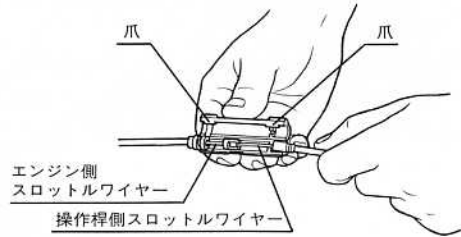


## ●スロットルワイヤーの取付け

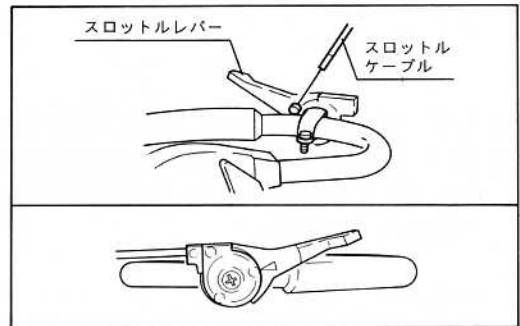
- コネクターケースの▼部に付属の⊖ドライバーを差込んで開けます。



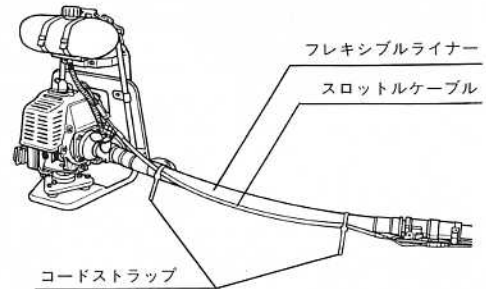
- 操作桿側のスロットルワイヤー先端をエンジン側スロットルワイヤー先端に引っかけます。
- コネクターケースをカチッと音がするまではめ込みます。両側に爪があるので、確実に入っているか確認してください。



- スロットルレバーの裏側の丸穴にスロットルワイヤー先端を入れ、溝にスロットルワイヤーを添わせて収めます。
- つぎにスロットルケーブルを引き、スロットルワイヤー先端の金具がスロットルレバーの根元の溝(穴)に収まるようにします。

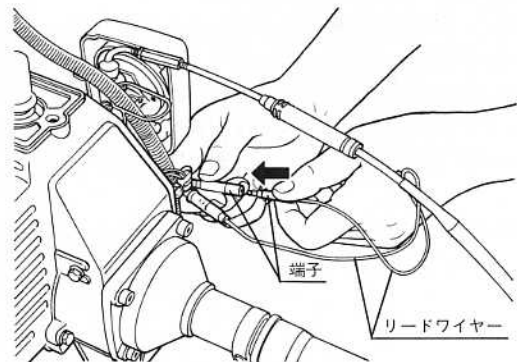


- スロットルケーブルがスロットルレバーにセットできたら、コードストラップでスロットルケーブルをフレキシブルライナーに添わせ締付けて固定してください。



## ●リードワイヤーの取付け

- エンジン側のリードワイヤー端子と、操作桿側の端子を接続します。

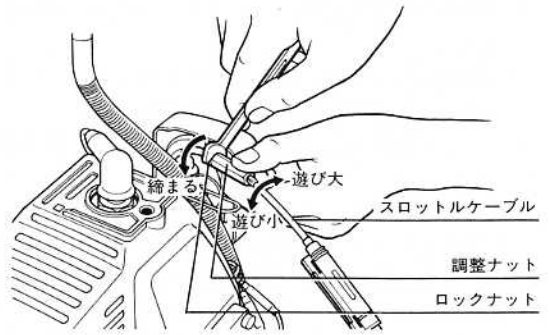


## ●スロットルワイヤーの遊び調整

- ロックナットを緩め、調整ナットを回してスロットルケーブルの遊びが0.5～1.5mmになるように調整します。
- ロックナットを締めます。

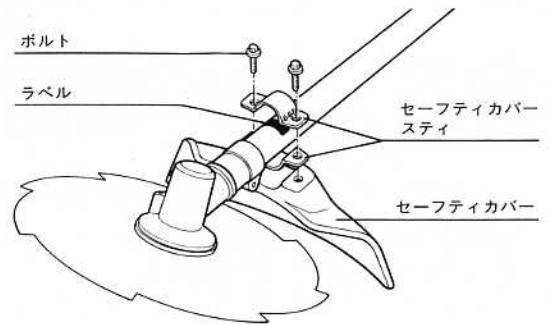
### 〈注意〉

スロットルケーブルに遊びがないと、エンジンのアイドル回転数が高くなり、刈刃が停止しなくなりますので、大変危険です。



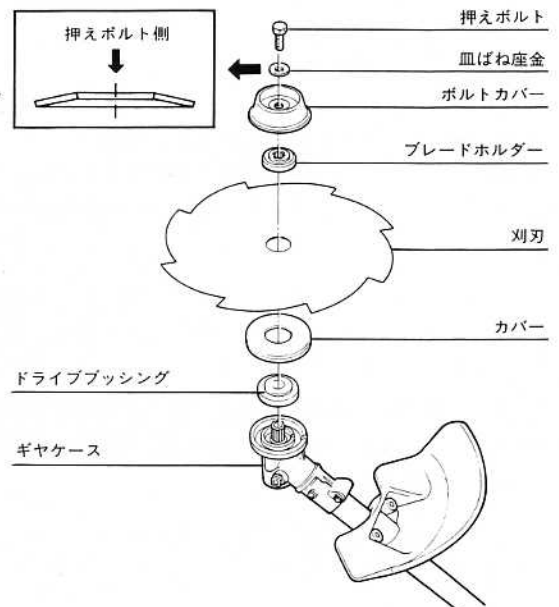
## ●セーフティカバーの取付け

- セーフティカバーステイは、カバー取付位置ラベルがかくれ位置とします。
- セーフティカバー本体とステイを2本のボルトで均等に締付けて固定します。



## ●刈刃の取付け

- 刈刃の取付けは、右図の順に取付けます。
- 押えボルトへ組付ける皿ばね座金は必ず図のような向きにしてください。



- 付属の六角棒スパナ(4mm)をギヤーケースの固定用穴に通します。

六角棒スパナを軽く押し上げた状態で、シャフトを回していくと、シャフトが回らない位置があります。

- シャフトが回らないことを確認してから、刈刃を取付けてください。

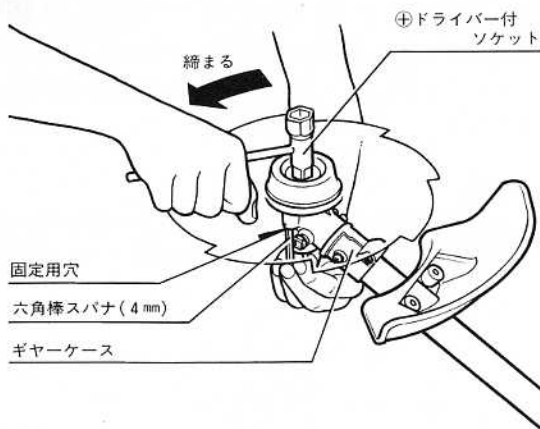
- 刈刃の押えボルトは逆ネジ=左ネジです。

付属の⊕ドライバー付ソケットを使い締付けます。  
(締付けは時計の針の回転とは逆の方向に回します。)

※参考締付トルク 1.5~2.0kg・m

〈注意〉

締付け、ゆるめの為、ソケットを操作される時は刈刃の刃先に充分注意してください。



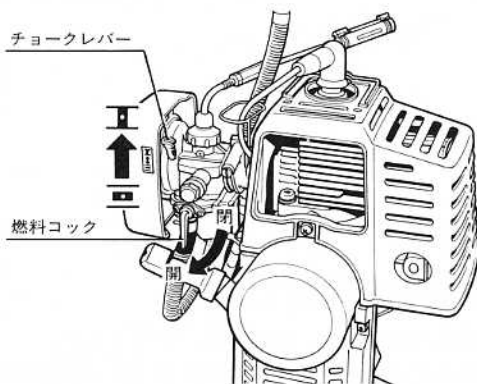
## 始動、運転、停止

正しい比率(ガソリン**20~25**に対し2サイクル専用エンジンオイル**1**)で混合された燃料を燃料タンクに入れてください。

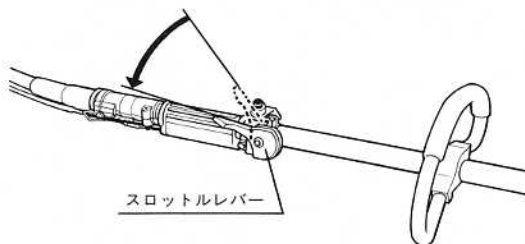
※こぼれた燃料はふき取ってください。

### ● 始動

1. 燃料コックを開にします。

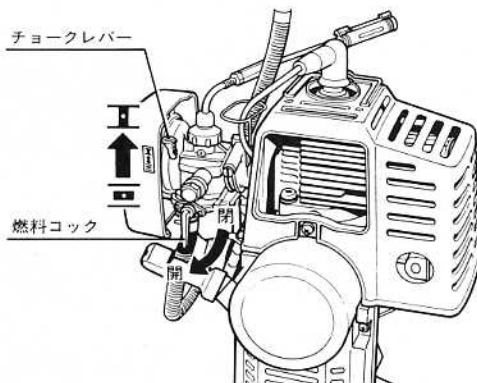


2. エンジンが手でさわられる位冷えている時
  - ・スロットルレバーを $\frac{1}{2}$ ~ $\frac{1}{3}$ 程度開いてください。

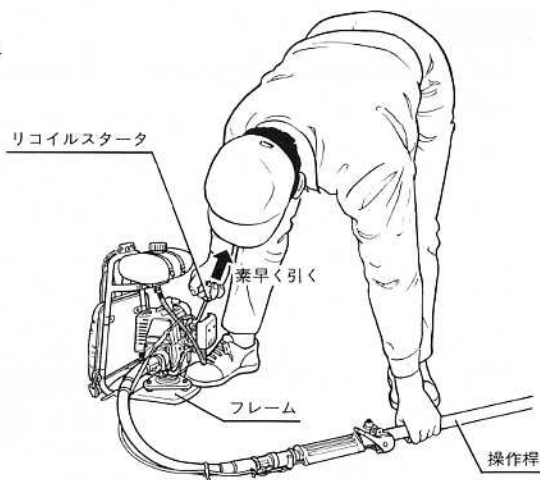


※

3. チョークレバーを全閉の位置(閉)に上げてください。
  - ・エンジンが暖まっている時(停止後、約15分以内)はチョークレバーの操作は不要です。



4. 図のように、左手で操作桿を、足でフレームを押えます。  
 リコイルスタータ(ロープ)を、最初の爆発音がするまで素早く引いてください。  
 “ブルン”という爆発音がします。  
 (エンジンは、かかりません。)



〈注意〉

リコイルスタータのロープの全長を確認した後、全長の8割位で利用するように心掛けてください。  
 全部を引いてかけますと、ロープを引きちぎる恐れがあります。

5. チョークレバーを全開の位置(☐)に下げてください。  
 再度リコイルスタータ(ロープ)を引いてエンジンを始動させます。

〈注意〉

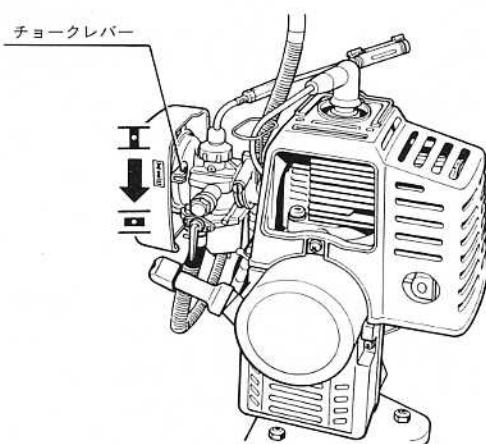
始動しない場合は、前頁「始動」の※印(チョークレバーを全開)の項に戻り、再度操作を繰り返してください。

始動しましたら30秒くらい暖気運転をします。

〈注意〉

エンジン始動時は機械をしっかりと押え、周囲の人や物に十分注意してください。

また、エンジンが始動すると同時に刈刃が回転します。  
 刈刃のそばの石や障害物をさけてください。



## ●吸い込み過ぎについて

- 爆発音を聞き逃がしたままで(チョークレバー全開)リコイルスタータ(ロープ)を何回も引くと、吸い込み過ぎとなります。

この場合は、スロットルレバーを一杯に開き、チョークレバーも全開とした状態でリコイルスタータ(ロープ)をエンジンがかかるまで(10回~15回くらい)素早く引いてください。

- ティクラー操作の不良や、マフラーから燃料が出てくるほどの大量の吸い込み過ぎの場合は、スロットルレバー、チョークを全開とし、再度リコイルスタータ(ロープ)を約30~40回素早く引き、始動させます。

〈注意〉

エンジンが始動すると同時に高速で刈刃が回転します。直ちにスロットルレバーを戻し、回転を下げてください。

## ●背負い方

1. 右手で操作桿を持ち、左手で左側のバンドを持ち上げ肩に掛けます。



2. 刈刃、エンジンのバランスに注意しながら立ち上がります。



3. 操作桿を左手に持ちかえ右側のバンドを右肩に掛けます。



4. 背当てが腰のやや上になるように、左右のバンドの長さを調節して、身体になじませてください。

5. 付属の吊りバンドを図のように取付け、作業時バランスが取れるように、バンドの長さを調整してください。





# 運 転、停 止

## ● 運 転

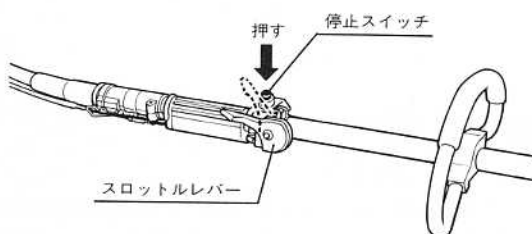
- 低速運転(アイドリング)からスロットルレバーを徐々に開きエンジンの回転を上げてゆきます。  
刈払作業をされるときは、エンジン回転を上げてから行ってください。

〈注意〉

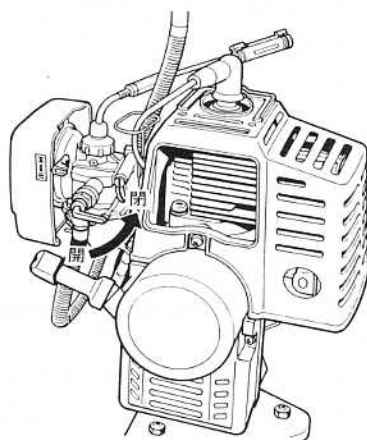
- 刈払作業をしないときは高速回転をさせないでください。  
(空ふかし運転はしないでください。)
- 刈払作業時は中速～高速回転の間で使用してください。

## ● 停 止

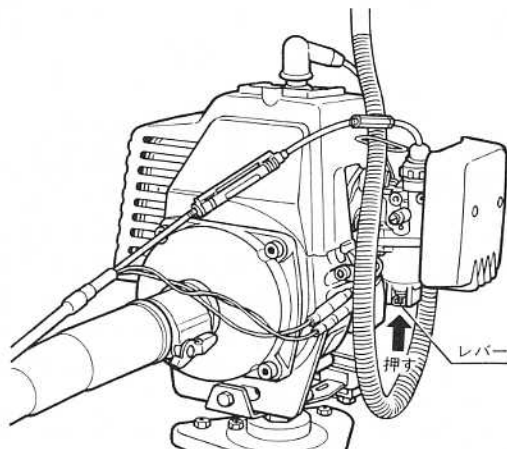
- スロットルレバーを戻し、低速運転(アイドリング)をしばらくつづけ、エンジンを冷やします。  
つぎに停止スイッチをエンジンが完全に停止するまで押してください。



- 燃料コックを閉にします。



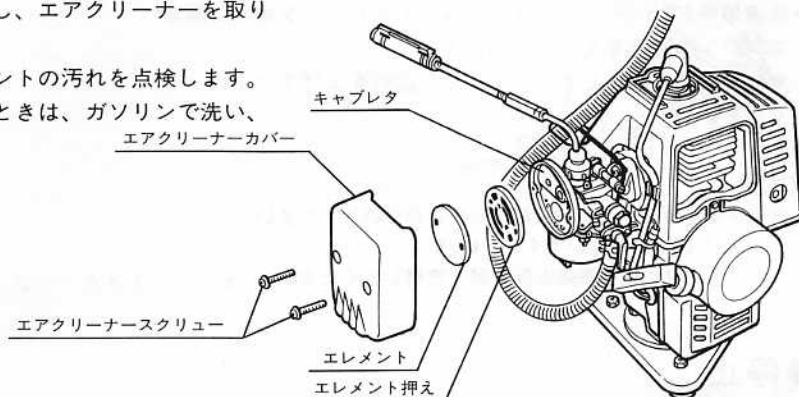
- 長期間使用しない場合は、キャブレタの下にあるレバーを押し上げ、キャブレタ内のガソリンを抜いてください。



# 点検と整備

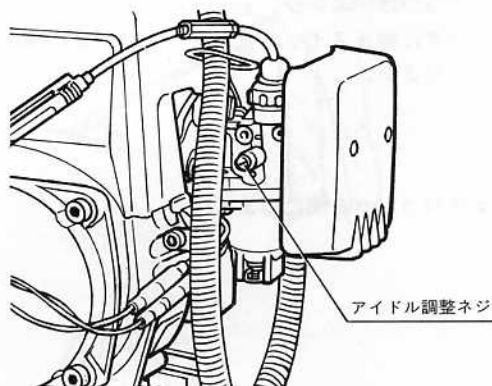
## ●エアクリナー

- エアクリナーズクリューをはずし、エアクリナーを取りはずします。
- エレメント押えをはずし、エレメントの汚れを点検します。軽くゴミを払うか、汚れのひどいときは、ガソリンで洗い、乾いてから使用します。



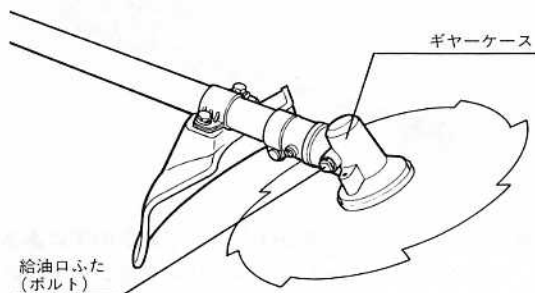
## ●気化器(キャブレタ)

- アイドル調整ネジ  
アイドル調整ネジを左右に回し、低速回転を調整します。刈刃が回りはじめるやや前(停止状態)とし、且つ、エンジンが停止しない状態としてください。



## ●ギヤケースへの給油

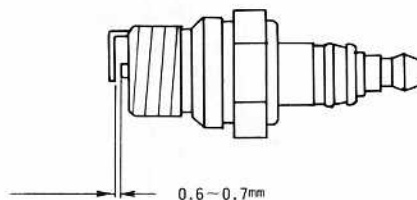
- 使用経過50時間前後に給油口ふたのボルトを外し、給油してください。  
(グリス#2を使用してください。)



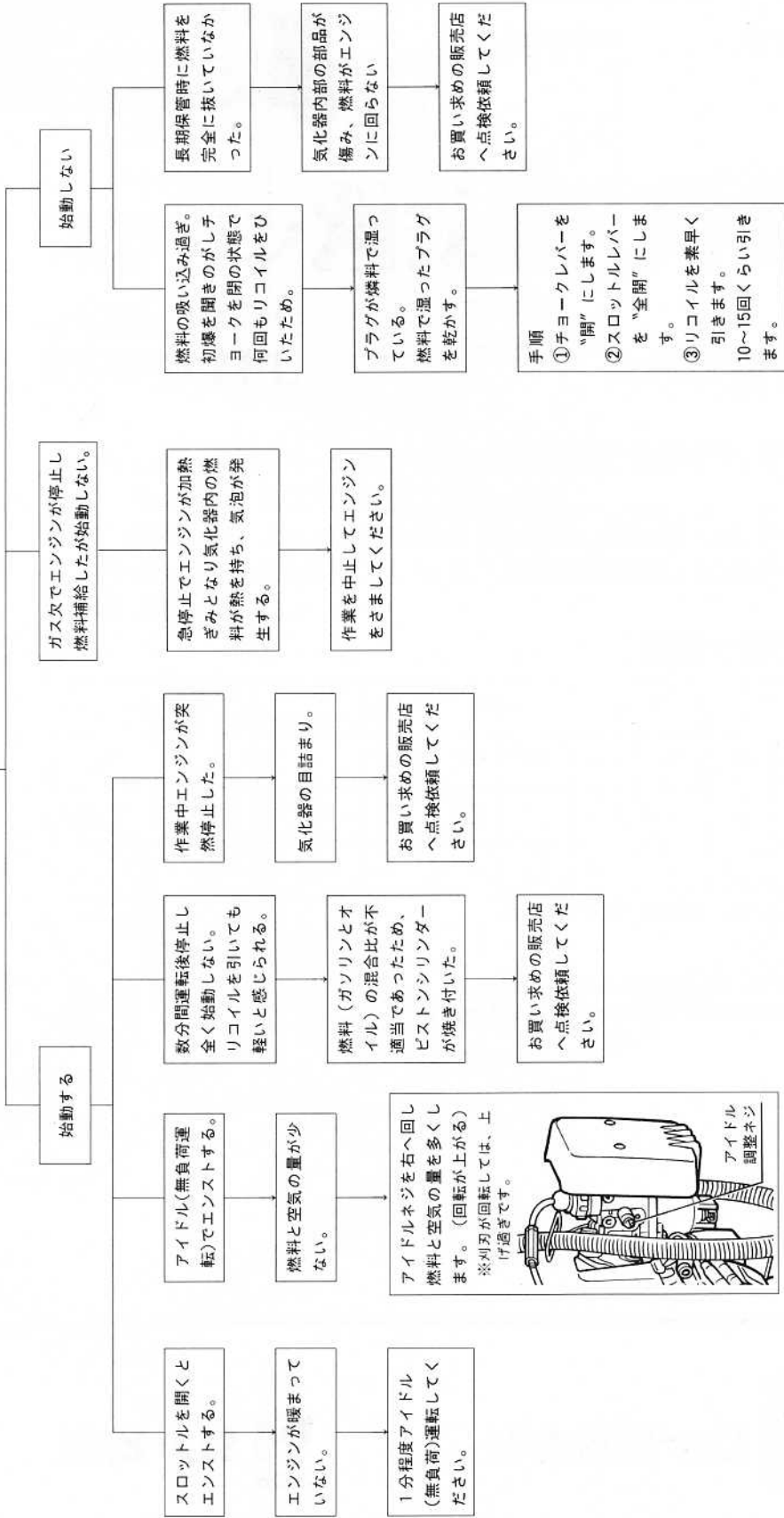
## ●スパークプラグ

- スパークプラグの適正な電極間隔は0.6~0.7mmです。常に適正な間隔を保ち、カーボンや油などによる汚れに注意して清掃の上ご使用ください。

NGK BM-6A 又は チャンピオンCJ8を  
使用してください。



# エンジントラブル時のチェックリスト









## ● 刃物について

- チップソー  
山林の下刈用
- 丸のこ  
山林の下刈や、かん木刈用
- 8枚刃  
通常草から、やや固め草用
- 4枚刃  
やわらかい緑の草用
- ナイロンオートカッター  
きわ刈りや石の多いところ、  
芝生の刈込みにナイロンコード  
でカットします。

長い距離、広い面積を一度で刈るのに便利です。

- あんぜんローター  
ナイロンオートカッターと同じですが、一定寸のナイロンコード  
をその都度補充し、差し換えて使用するタイプです。  
ちょっとした作業に最適で、かつ経済的です。

## ● 刈刃適応表

刃物	チップソー	丸のこ	8枚刃	4枚刃	ナイロンオートカッター あんぜんカッター	ブラカッター
用途						
下刈	○	○				
雑草刈			○			
雑草刈				○		
芝刈					○	○
際刈					○	○

## ● 刈刃適用機種一覧表

刈刃 外径 (mm)	チップソー		丸のこ		8枚刃		4枚刃	ナイロン オートカッター	あんぜん ローター	ブラカッター
	255	230	255	230	255	230	230			230
EKB-240 L		○		○		○	○	○	○	○
EKB-325 L	◎	○	◎	○	○			○	○	○

◎印の刈刃は、市販品をご使用ください。

### 〈注意〉

- 欠け割れのある刈刃は、新しいものに取替えてください。
- 交換の際は、必ず機械の能力、用途に合わせたものをお選び  
ください。

発売元

 **リョービ販売** 株式会社  
RYOBI

 **リョービ** 株式会社  
RYOBI